

年次		1年次		2年次		3年次		4年次		ディプロマ・ポリシー
到達目標		多様な人々の生命・健康・尊厳について学び、関係性を構築するための基本的な能力を身につける		人々の健康課題について科学的に理解し、最適な健康に向けた基本となる看護方法を身につける		多様な健康状態に対応できる看護方法を身につける		多様な健康課題に対応できるシステムアプローチによる看護方法を身につける		
科目	DP	区分	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目	1. 多様性を尊重できる豊かな人間力	人間と社会の探求	生物学 情報処理基礎 医療における英語コミュニケーションⅠ 医療イノベーション学 教養特殊講義	医療における英語コミュニケーションⅡ 異文化理解Ⅰ 異文化理解Ⅱ 暮らしのなかの憲法			データリテラシー入門			
		人間と生活の探求	人権と社会 近大ゼミ 心と体の健康 現代社会と倫理 生涯スポーツⅠ	生涯スポーツⅡ					哲学と人間・社会	
専門基礎科目	2. 根拠に基づく看護実践力	人間と環境の探求	形態機能学Ⅰ 臨床医学入門	形態機能学Ⅱ 発生・ゲノム入門 臨床栄養学 微生物学・免疫学入門	公衆衛生・疫学					
		過渡期と探求		疾病・治療Ⅰ 臨床薬理学	病態診断論 疾病・治療Ⅱ	疾病・治療Ⅲ				
		制度と探求	グローバルヘルス概論	社会保障・社会福祉論	障害論 保健統計学 ※① 健康・医療心理学					
専門科目	2. 根拠に基づく看護実践力	基礎看護学	看護概論 生活支援論	看護倫理 生活支援方法論 基礎看護学実習Ⅰ			看護管理 国際看護学 国際看護学演習 災害看護学		医業看護学	
		地域・在宅看護学			地域看護学概論 在宅看護・ケアシステム概論	地域看護学支援論 在宅看護・ケアシステム支援論		地域包括ケア実習		
		クリニカル看護学				急性看護学概論 慢性・がん看護学概論	急性看護学支援論 慢性・がん看護学支援論	急性看護学実習 慢性・がん看護学実習		
		老年看護学			老年看護学概論	老年看護学支援論	老年看護学実習			
	4. 連携協働し、共創する力	こども看護学				こども看護学概論	こども看護学支援論	こども看護学実習		
		ウィメンズヘルス看護学				ウィメンズヘルス看護学概論	ウィメンズヘルス看護学支援論	ウィメンズヘルス看護学実習		
		精神看護学				精神看護学概論	精神看護学支援論	精神看護学実習		
		共創看護学	共創看護学入門 共創看護学演習Ⅰ ボランティア論						共創看護学演習Ⅱ	
		看護の探求分野	サービスラーニング				看護研究Ⅰ		看護研究Ⅱ がんシステムアプローチ実習 統合看護学実習 インターンシップ実習	
		（公衆衛生師課程看護学）					公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護活動Ⅰ	公衆衛生看護技術論 選抜	地域診断・活動展開Ⅰ 地域診断・活動展開Ⅱ 公衆衛生看護活動Ⅱ 公衆衛生看護学実習	
3. 探究し社会に貢献する力	5. 自己教育力									

1. 多様な価値や文化を理解し、人々の幸福や安寧を探究する態度を身につけ、人々を尊重して行動できる。
(多様性を尊重できる豊かな人間力)

2. 人間についての幅広い知識に基づき、看護の対象となる人を全人的に深く理解し、的確な臨床判断により看護の必要性を査定し、多様な状況において最適な看護を実践できる。
(根拠に基づく看護実践力)

2. 人間についての幅広い知識に基づき、看護の対象となる人を全人的に深く理解し、的確な臨床判断により看護の必要性を査定し、多様な状況において最適な看護を実践できる。
(根拠に基づく看護実践力)

4. 看護活動にかかわるあらゆる人々に対し敬意をもって信頼関係を創り、連携協働し共創することができる。
(連携協働し、共創する力)

3. 社会の健康問題に関心をもち、探索的に課題を追究し、看護の知と技を社会に実装することを通して、社会の発展に貢献することができる。
(探究し社会に貢献する力)

5. 看護職を目指す者として高い使命感と倫理的な態度を身につけ、自己研鑽や看護の探求に取り組み、人に愛され、信頼され、尊敬される人格へと自らを成長させることができる。
(自己教育力)

※① 保健師課程を選択した学生は必修科目